



令和7年11月1日(土) 09:30-11:00

第5会場

<テーマ>

臨床一般検査の最前線の取り組み

<ねらい>

一般検査における検査材料は尿、便をはじめとして、体腔液である胸水、腹水、心嚢水のほか、髄液、関節液、羊水、精液など多岐にわたる。実施可能な項目（材料）、報告におけるコメントスタイルは施設ごとに異なり、検査の質を高めるための取り組みも多様化しています。

本シンポジウムでは、「臨床一般検査の最前線の取り組み」と題し、より臨床に役立つ結果報告を行うための方法について大規模病院・中規模病院・小規模病院それぞれの立場から、検査の工夫・課題・展望について紹介いただきます。そして、皆さんには今後の一般検査のあり方についても含め討論の場として参加いただき、自施設にあった新しい取り組みを持ち帰り、実践いただけることを望みます。

司会 星 雅人（藤田医科大学 医療科学部）

前田 るみ子（伊勢赤十字病院 医療技術部臨床検査課）

<講演内容>

1. 大規模病院での取り組み ～質の高い一般検査を目指して～

演者：深谷 仁（三重大学医学部附属病院 検査部）

2. 中規模病院での取り組み ～ジェネラリストを目指して～

演者：森 栄（郡上市民病院 臨床検査部）

3. 小規模病院での取り組み ～付加価値ある丁寧な結果報告～

演者：平田 基裕（医療法人青山病院 臨床検査科）